

喜界町

図書館だより

10月号



【通算 第244号】
2016（平成28）年10月1日発行

〒891-6201
喜界町大字赤連字樋口前30番地
TEL：0997-65-0962
FAX：0997-65-2523
e-mail:kikailib@town.kikai.lg.jp

ブックスタート

図書館からの
プレゼント!

(コットンバッグ・絵本)



赤ちゃんと保護者が絵本を介してゆっくり
心ふれあうひとときを持つきっかけづくりの
お手伝い。

★受け取りは0歳児のみ。 図書館にて随時受付。

== 読書標語は「いざ、読書」 ==

*** 恒例の秋の行事「読書週間10月27日（木）から11月9日（水）まで」 ***

公益社団法人読書推進運動協議会は、下記の4項目を「読書週間」のテーマとして掲げています。

(1) 国民すべてに読書をすすめる運動

「秋・読書週間に、ぜひ、一冊の本を」が活動の原点です。「読書週間」、読書の楽しさを伝え、すべての世代の人たちに本に親しむきっかけをつくっていただくためにあります。

(2) とくに青少年に読書をすすめる運動

いつの時代も「子どもが本を読まなくなった」といわれてきました。近年は、受験戦争に加え、映像や電子メディアなどの発達で、ますます子どもたちの「読書」の時間が少なくなっています。活字文化はすべてのメディアの基礎です。とくに幼少時から青少年における読書をすすめます。

(3) 読書グループの結成促進

グループ読書は読書の楽しみ、大切さを広めることで深い意義を持ちます。読書グループの結成を応援しています。

(4) 家庭文庫、地域文庫、職場文庫の充実

読書は身近な場所に本が豊かであることが必要です。各地域の公共図書館が充実し、読書グループや家庭文庫、地域文庫が数多く作られることを期待します。

=====

* 《土俗を物語る島の民謡》 == 汐道長浜（シミチナガハマ）節の物語 == （9月号からの続き）

盛里は、奔馬（ほんば：勢いよく走る馬）に引きずられて生きた心地もなく、唯々（ただただ）、童声をたてて泣き叫ぶ外、どうすることも出来なかった。奔馬は、大声に驚いて走り狂ったが、声は、雨風にさえぎられて人家には聞こえず誰一人として助けに出て来る様子もない。

広々とした塩道長浜を幾度も幾度も、折り返し走った馬も疲れたであろうが、童声立てて泣き叫んでいた盛里も、いつしか泣き声は細くなり、馬が止まった頃には、身体もぐったりしていた。哀れ、叶わぬ恋に身も魂も奪われて一生を終わったとは。（続く）

【参考資料】：『喜界島古今物語』（三井喜禎 著）『広辞苑』（岩波書店）（文責：登山 典壽）

お知らせ

返却期限は、
守りましょう！

『赤ちゃんおはなしかい！』

日時： 毎月第一金曜日 午前11:00より

0～2歳児の赤ちゃんと保護者に読み聞かせや
手遊びをします。お気軽にご参加ください！



本が泣いています。

※ 図書館の本は、皆様の税金で買われた本です。
本にしるしをしたり、線を引いたりしないでください。



※ 汚れてしまった本、破れてしまった本は、窓口カウンターに返して
頂きますようご協力お願いいたします。
（破れてしまった本は、そのまま図書館の窓口持カウンターに持って
来てください。）

秋と言えば、読書の秋。 本を読んでみませんか？

☆ 大活字の本が新しく入荷
しました！

『大活字』とは、通常の図書よりも大きな活字で印刷
された書物です。

「本の字は小さく読みにくい」という方に、おすすめの
図書です。

- ☆ 第三の時刻 上下 （横山 秀夫著）
- ☆ 隠し剣弧影抄 上下 （藤沢 周平著）
- ☆ 素行調査官 上中下 （笹本 稜平著）
- ☆ オリンピックの見代金①②③④
（奥田 英朗著）

～本が未返却の方へ～

あなたが持っている本を読みたいと思っている人が
います。図書館も困っています。

早めの返却をお願いいたします。